

経営体の概要

- ・所在地: 石川県小松市
- ・プロジェクト名: こまつ・アグリウェイプロジェクト
(株)コマツ、小松市、JA小松市)
- ・栽培作物: トマト
- ・参画農家数: 6戸(平成30年8月現在)

導入技術

- ・環境センサ(ネポン製)
- ・細霧冷房(いけうち製)
- ・ヒートポンプ式ラジエーター暖房機(コマツ製)
- ・二酸化炭素発生装置(ネポン製)



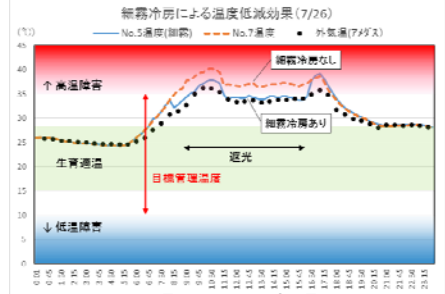
【ICTセンサー】



【環境データ】



【細霧冷房】



【温度比較】

導入経緯

- 北陸最大のトマト産地である小松市では、若手生産者の栽培技術向上のため、平成26年から環境センサーを活用した施設内環境の見える化の取組みを開始した。
- さらに、暖房機や二酸化炭素発生装置など環境制御設備を導入し、出荷期間の延長や品質の向上に向けた技術確立を検討している。

取組の特徴・効果

- 環境センサーを設置し、施設内環境を「見える化」することにより、生育に適した環境の制御に活用している。
- 若手生産者が強みとするICT技術の活用により、意欲が向上し、後継者間や、部会内での情報交換が頻繁に行われるようになった。
- 夏季の高温対策として細霧冷房装置を導入したところ、施設内気温が低下する効果が得られ、二酸化炭素発生装置との併用により1割程度の増収効果がみられた。
- さらなる増収のため、暖房機や二酸化炭素発生装置などの活用効果を検討している。